



各商工会議所・各青年部へ配布

# しょうせい 翔生

発行 全国商工会議所青年部連合会  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2  
『日本商工会議所中小企業振興部内』  
TEL 03-3283-7847

編集 広報委員会  
担当副会長 矢口 伸二 委員長 田中 拓朗  
田代 正人 / 中渡 博 / 御子柴安正  
湯浅 清二 / 御前 紀朗 / 小松 計夫  
山南 晋

## この一年を振り返って

平成十二年度全国商工会議所青年部連合会  
会長 倉橋 純造



本年度、商青連は「地域をむすぶ、時代をつなぐYEG 新未来創造宣言!!」をキャッチフレーズに諸事業を展開して参りました。

振り返ると、あっという間の一年間でした。その間、全国の皆様とは、春のブロック会長会議、秋のブロック大

会、鹿児島全国大会、半田全国会長研修会とお会いする機会がありました。その中で実感しましたことは、各地域・各単会間に温度差があることと、単会で展開されている優れた事業がその地域に埋もれているということでした。これらを少しでも解消するのが商青連の役割だと思えます。二十一世紀の幕は開かれました。目まぐるしく変化する社会環境に対応すべく青年部らしさを全面に打ち出し、商青連としてやるべき事、またやらなければならない事を全メンバーあげて取り組んでいきたいと思えます。

最後に、今年度出向役員の皆様をはじめ、全国のメンバー、日商事務局の方々に對し、ご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

## 平成13年度会長として

平成十三年度全国商工会議所青年部連合会  
会長 古泉 幸一



二十一世紀のスタートに平成十三年度商青連会長という大任を賜り、大変光栄に思うとともに期待と不安でいっぱいです。しかし、与えられた仕事に全力で向かっていこうと、決意も新たに今思っています。

戦後の日本の社会観が今大きく変わってしまいました。終身雇用制の崩壊、IT革命、銀行・保険会社の変革・統合。さらに長引く消費低迷による売上の低迷。自分の将来に対する不安など、

私たちを取り巻く社会環境は以前にも増して厳しく感じられます。そんな不安に少しでも答えられるような組織にしていければと考えます。地域の枠を越えて、互いにいろんなことで連携をしていこうと商青連では訴えてまいりました。全国のYEGメンバーとたくさんの出会いができましたか?近い将来に少子高齢化による人口減少問題がやってきます。会社や店舗の経営は勝ち残るめどはたちまちでしようか。そろそろ行動に出なければいけない時期に來たと考えます。だからこそ「連携YEG 実践展開 パーチャルからリアルへ」とスローガンを掲げ、実践に移しましょうと訴えてまいりたいと思います。その為、一年間がむしやらに商青連活動をやり遂げたいと誓いを新たに思っています。魅力あるYEG活動を、全国のメンバー皆様と創りあげたいと思います。ご協力をお願い致します。

### CONTENTS

#### 特集 対談

読売巨人軍監督

商青連会長・青森YEG

## 長嶋茂雄 VS 倉橋純造

～リーダーの条件～



#### ブロック大会報告

砂川大会 / 米沢大会 / 魚津大会 / 相模原大会  
鳥羽大会 / 宮津大会 / 鳥取大会 / 善通寺大会  
柳川大会

#### 各委員長挨拶

研修委員会 藤田晋一 / 広報委員会 田中拓朗  
企画委員会 鈴木倮介 / 総務委員会 高橋宏平  
アントレプレナーズ委員会 竹川博子

#### 宮津YEG 創立45周年記念事業

第20回商工会議所青年部全国大会

#### 鹿児島大会開催

Shake hands in HANDA

#### 半田会議開催

#### YEG大賞決定

#### 全国商工会青年部連合会との懇談会

商青連会長と単会会長との懇談会

#### 質疑応答 Q&A



## 全国商工会議所 青年部連合会 役員予定者

商青連役職	氏名	青年部 (県名)
会長	古泉 幸一	亀田 (新潟)
直前会長	倉橋 純造	青森 (青森)
副会長	大脇 唯真	鹿児島 (鹿児島)
副会長	関根 敏伸	北上 (岩手)
副会長	首藤 俊一郎	北大阪 (大阪)
副会長	辻 伸吾	中村 (高知)
専務理事	鈴木 肇	藤沢 (神奈川)
ブロック代表理事	北海道 永桶 裕明	美唄 (北海道)
	東北 斎藤 明彦	米沢 (山形)
	関東 辻 博明	宇都宮 (栃木)
	北陸 鈴木 信嘉	村上 (新潟)
	東海 原田 隆司	豊田 (愛知)
	近畿 杉本 登司	新宮 (和歌山)
	中国 中塚 総一郎	児島 (岡山)
	四国 中畑 利介	宇和島 (愛媛)
	九州 峰 唐津	唐津 (佐賀)
総務委員会	委員長 西村 達郎	酒田 (山形)
	副委員長 遠藤 眞弘	沼津 (静岡)
	理事 佐藤 利明	古川 (宮城)
	理事 松川 博城	福島 (福島)
	理事 山岸 寛士	福井 (福井)
	理事 清水 雅文	倉吉 (鳥取)
	理事 仁田 一郎	広島 (広島)
	理事 河野 巧	臼杵 (大分)

商青連役職	氏名	青年部 (県名)
企画委員会	委員長 宗野 和博	久留米 (福岡)
	副委員長 関 学	柏 (千葉)
	理事 鈴木 倮介	小田原 (神奈川)
	理事 金 英信	八日市 (滋賀)
	理事 岩崎 道彦	和泉 (大阪)
	理事 原田 和典	鴨島 (徳島)
	理事 木村 寿宏	熊本 (熊本)
研修委員会	委員長 西居 基晴	大津 (滋賀)
	副委員長 竹原 繁明	宮津 (京都)
	副委員長 木下 一成	加古川 (兵庫)
	理事 富川 吉昭	波川 (群馬)
	理事 山ノ下 武志	黒部 (富山)
	理事 新里 建二	沖縄 (沖縄)
広報委員会	委員長 山本 和正	各務原 (岐阜)
	副委員長 水溜 真樹	小林 (宮崎)
	理事 宮田 豊和	結城 (茨城)
	理事 安藤 秀男	草加 (埼玉)
	理事 大西 一司	高山 (岐阜)
	理事 笠間 清	亀山 (三重)
	理事 山下 仁規	多度津 (香川)
アントレプレナーズ委員会	委員長 越智 英俊	東予市 (愛媛)
	副委員長 高橋 茂	横手 (秋田)
	理事 国枝 恭二	帯広 (北海道)
	理事 鈴木 順三	弘前 (青森)
	理事 嵯峨 孝朗	久慈 (岩手)
	理事 松本 仁	輪島 (石川)
	理事 野澤 貞人	塩尻 (長野)
	理事 水本 和良	大和高田 (奈良)
	理事 渡部 哲也	安来 (島根)
	理事 光永 武	山陽 (山口)
	理事 味本 隆	高知 (高知)
	理事 上田 崇仁	北松 (長崎)
	理事 松下 一郎	枕崎 (鹿児島)



# 特集 対談

読売巨人軍監督

商青連会長・青森県青森YEG

# 長嶋茂雄 VS 倉橋純造

## ～リーダーの条件～

平成12年度最終の役員会が半田で行われた翌週の平成13年2月15日、宮崎市の青島ランドホテルで春期キャンプ中の読売巨人軍長嶋茂雄監督を、倉橋会長と広報委員会のメンバーが訪ね、夢のビッグ対談が実現しました。

冒頭、倉橋会長から全国商工会議所青年部の活動・広報誌「翔生」が紹介された後、対談がすすめられ、長嶋監督は約40分もキャンプ中の貴重な時間を割いてくれました。



**倉橋** ビッグ対談を、広報委員会が企画しておりますので、「長嶋監督以外はダメ」と広報委員会を苦しめておりましたら、広報委員長の田中のおかげで、本当に長嶋監督に会えることが出来て、大変嬉しく思っております。

我々は、商工会議所青年部ということですが、それぞれのメンバーが企業人なんです。長嶋監督といえ、やはり「リーダー」ということが第一に浮かぶイメージなんです。

本日は、長嶋監督から「リーダー学」を学びたいなと思っております。

**長嶋** いやいや、私はスポーツ界ですからね。皆さん方とちがってビジネスの実践の経験も無いしね。

**倉橋** 長嶋監督はファンに対する気配りも非常に大切にしているとお聞きしているのですが、成功している企業のトップも、最終的にはお客様に何が出来るかという事が、企業の勝敗を分ける事になるとよく言います。自分の企業を守る事だけを考えると、お客様の事をないがしろにしていくケースがよくあるのですが、長嶋監督の場合、それをキチッと守っておられると思うのですが。

**長嶋** 宮崎市において、我々がキャンプをするので、例えば先日の三連休にですとね、一・二・五、〇〇〇人のファンの方が来てくれました。うちは四十二年間宮崎でキャンプをやっていますが、前は九州エリアの方が沢山来てくれていたんです。今は、どうして、こう、全国から来てくれるのかという確認作業をしてみると、ジャイアンツファンが圧倒的なんですけど、そ

の中にいる各プレイヤーですね、まあアメリカで言うところの十二球団の中で、非常に個性的なタレントは十二球団の中でうちは断崖ですよ、そのタレントを魅力とするわけですよ。我々は個性のある魅力のあるプロとしてのレベルの高いという選手の「商品づくり」ですよ。そういうものを我々の世代は強く持っていますね。選手の悪口は絶対言わない。「商品」ですからね。お店なら店頭に出しながら、「どうぞお買い下さい。お見せしたい。」という姿勢が、お客様を惹きつけていると思います。

世の中こんな時代の中で共存・共生というよりも、まさに共生ということが飛び交っていますね。共生という時代がね、ファンあってのものだと四十年言い続けてきているわけですよ。ファンが何を望んで、何を期待して、何をニーズに我々はね、基本的なものを提供しながらねそういう姿勢が古いから……。

**倉橋** まさに、我々企業人の顧客第一主義を、野球界において実践されているんです。時代のニーズを敏感に感じ取って魅力ある商品、サービスを育て、提供していく事に非常に共感を覚えます。ところで、長嶋監督は、選手一人ひとりの個性を大切にしているというところですが、経済人の我々には教育問題というのか、突出した人間を如何に見出してやるか、活かしてやるか、個性ある人間をどの様に伸ばしてやるか。平均的な人間は必要なくなくなってきていますから……。

**長嶋** 平均的なスタンスをもって、つまりイージーに生活しにくくなりましたね。職業を選択する場合でも、特徴のある個性、自分の長所みたいなものを持ちながら、そしてそれを、磨きをかけて、自分の長所を世に問いたら、生活の基盤としての、基本的なライフワークをね、全うする……。だからイージー……というの今は難しいですよ。我々は基本的にプロの個性集団だから、技を売りものとしてやるわけだから、ヘタになっちゃもう生きていけません。手前味噌になるけども、今の選手の選手が一番魅力がありますよ。ピッチングスタッフが内外野の各タレントがチームに貢献をするでしょ。そのパラメータがね、一番いいですよ。だから全国から皆さんが、飛行機を使い車で五時間走って、或いは十時間、一昼夜かけてね、ここまで来てくれるか、足を運ぶか、このチーム見たさに何が魅了しているのか。きちんとしたプロ

……。

**我々、企業家活動を行ううえにおいても、色々な場面で決断を強いられます。**



倉橋純造 (くらはしじゅんぞう) プロフィール

1952年 8月8日、青森県生。  
1978年 東北工業大学建築学科卒業。  
1979年 倉橋建設(株)入社、平成2年代表取締役就任。  
1998年 全国商工会議所連合会理事。  
1999年 全国商工会議所連合会副会長。  
2000年 全国商工会議所連合会会長。

らしいそういうものをね、やっぱり揃っているからじゃないでしょうかね。

**倉橋** 日本経済が低迷している中ですが、ナイターを見たりして気が晴れることがあり頑張ろうみたいな元気が出るのですが、明日も出でくる部分がありますよ。これは国民にとって絶対的なものがあると思うんですよ。巨人軍が負けること次の日仕事は嫌だ……。

**長嶋** よくそういうことは耳にしているんですけど……。

**倉橋** 元気が出てくるんですよ、かなり嫌なことがあっても、巨人軍が勝つと。長嶋 我々の場合は、やはりプロ野球という、つまり特殊な世界だと思っただけですね。皆さんはきちんとした原理・原則に基づいた企業という組織の中でお仕事をなさっている。我々も、ある面じゃ共有したところもあるんですが、やっぱり売って世界だからね、技術を売っていかか、そこらあたりがちよっとね、違う面があるんですよ。また、ファンの方から見れば、できないものは、我々が託されてお見せする……ということだから、特殊な世界なんですよ。

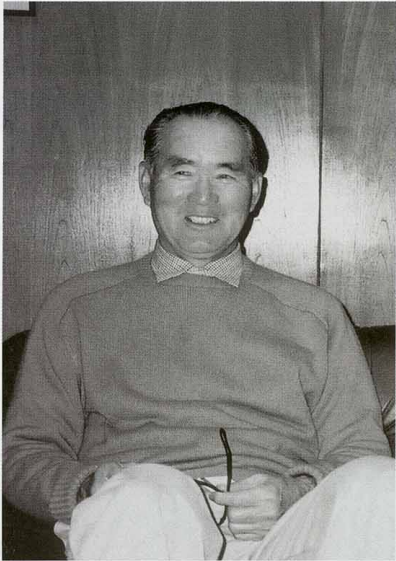
**倉橋** 監督として、選手を起用するときには決断があるでしょう、投手交代であるとか、いろんなときに。野性的感とか昔から言われているんですが、私はそれは失礼じゃないかと思っただけです。我々、企

業家活動を行う上においても、色々な場面で決断を強いられます。長嶋監督も、沢山のデータ、経験を基にして、いろんなことを考えた上で、瞬時に決断されていると思うんですが……。

**長嶋** まあ、それは言葉としては、僕から言えば非常に評価を受けたコメントとして意を強く持つんですがね。人間の能



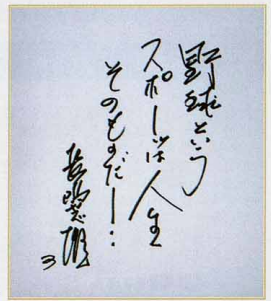




### 長嶋茂雄 (ながしましげお) プロフィール

1936年2月20日生、千葉県佐倉市出身。  
佐倉一高 → 立教大学 → 読売巨人軍  
1958年 新人王。  
本塁打王・首位打者・打点王・正力賞・MVP・ダイヤモンドグラブなど数々の受賞。  
読売巨人軍監督として日本一を二度。今年も連覇を狙う。

## ここ数年野球界に限らず、 変革の時代が現実に来ています。



長嶋監督から青年部に贈られた色紙▶

力つてのは、やっぱり全て違うように、  
大抵野球ってのは、同じルールの基で、  
一歩はみ出したら、ナルチーでね、キャ  
ンプでは、どのチームも同じ様なことを  
やっていますよ。そして六ヶ月間という公  
式ゲームで対外的な戦力、チーム編成を  
整備しながらね、さかんにその、確認作  
業を経て、チームのレベルを上げてやっ  
てるわけですよ。あとは問題は勝負に入っ  
たときのね、勝率ってものは優勝として  
ね、出てくるわけですよ。だから、最終的  
には監督、コーチ、また選手の役割、ポ  
ジションによって違いますけど、いづ  
れにしても八十一勝はね、当然、優勝す  
る為にはね、必要な数字でしょ。どうい  
う方法でどういう戦略をもってこの大き  
なね、チーム編成をやるかっていうこと  
で、それを今洗い直してやっていくわけ  
ですから、ところが今まだね、戦力は五  
〇から六〇%ぐらいですよ。それはオー  
ブン戦が終わった時期でね、日途がつき  
ますから、そのときにはきちっとした戦  
い方、方法としてね、ありますからね。  
倉橋 企業活動と同じ様に、戦いに入る前  
のシミュレーションが、綿密に行われる  
わけですね。

長嶋 また、次の世界の理論に入っていく  
わけですが、野球ってのは勝負でね、毎  
試合活きてるし、序盤、中盤、終盤、三  
回、三回、三回、その間に三時間  
弱のなかでね、その勝機を導き出してね、  
点を取るときは果敢に取っていく、守る  
ときは投入してですね、二番手、三番手  
投入してもこのインングだけはね、点を  
与えない、その山を越したらあと二回ぐ  
らいすんなり入っていく、いろんなそう  
いう思惑、推測、憶測、僕の場合プレ  
イールになったら、一回一回にはもう五  
回六回のシミュレーションをやっています。

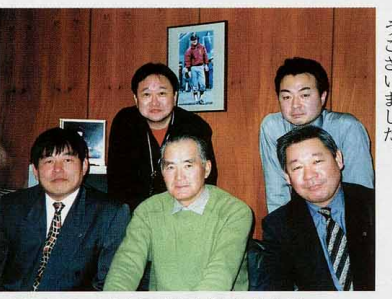


から、つまり一面性というより多面性  
のスポーツなんですよ。言葉でこう、  
理論的に言っても否定はできないですよ。  
一方で小さな女の子はね、「いや、お兄  
ちゃん違うよ、こういうやり方だっ  
てるんじゃないの。」と、問われたら、「ダ  
メだよ。」っていう否定はできないわけ  
ですよ。野球って非常にこういうリミッ  
トが無限に広がるね、勝負の体質がある  
んだから、だから、野球ってのは面白い  
んですよ。

倉橋 また、決断を強いられるいくん  
で、我々も若いメンバーの殆どが企業  
のトップに立っているんですが、好き嫌  
いに関わらず、いつか、判断を下さなけ  
ればならない場面が出てくるわけですよ  
ね。そんなとき長嶋さんはスバッと奇麗  
に決めちゃうんで、あまりにも小気味よ  
くね。。。。

倉橋 その中で決断を強いられるいくん  
で、我々も若いメンバーの殆どが企業  
のトップに立っているんですが、好き嫌  
いに関わらず、いつか、判断を下さなけ  
ればならない場面が出てくるわけですよ  
ね。そんなとき長嶋さんはスバッと奇麗  
に決めちゃうんで、あまりにも小気味よ  
くね。。。。

五、六回になったら、九回に投げさせ  
てどうやって逃げるか、一点二点ハイ  
ンドランでやるかどうやって点を取るか、  
エンドランでやるか、手堅く送って犠打  
で取るか、或いはキャッチャーでね、一発  
勝負でホームラン、長打に賭けてみる、  
いろんな手だてってあるんですよ。そう  
なっていますよ、いろんな科学的な、  
今ソフトの時代ですが、それよりも増す  
ね、素晴らしい人間の英知を結集したも  
の丹誠なんですよ。人間の持つて生ま  
れた一番の潜在能力、これはね、丹誠な  
んですよ。だからその丹誠ってのが、ど  
うやって養成されるのか、培われるのか、  
となるとしますとね、自然に親しむべき  
なんです。そういう意味合いでもね、  
宮崎ってところは、海あり、ちょっと  
いけば山あり、しかも非常に国土とし  
てのね、伝説のね、神話、伝説の宝庫な  
んですよ。そういう背景のなかで自然が  
未だにね、荒らされていない残されてな  
か、鍛練のね、プレーヤーが浸る削  
つてね、鍛練のね、だから、そういう鍛練  
の場所としては、僕はね、一番正だと  
みてます。技術を習得しながら自分の研  
ぎ澄ました切っ掛けは自然の宝庫に浸  
って鍛練していく。丹誠が養成されるもの  
は、それしかありません。



▲写真右より、倉橋会長・山南広報委員(大分県)・  
長嶋監督・田中広報委員長(山口県)・林理事(宮崎県)

倉橋 本日はお忙しい中、長時間に渡って  
貴重なお話を聞かせて頂き、本当に有難  
うございました。

長嶋 同じミスでも小事で食い止められ  
ばならん。それはコーチ、監督でも大事  
な仕事だと思えますよ。  
倉橋 我々も日々立派なリリーダーになら  
んと、社員を引っ張っている訳ですが、  
まさに野球界のリーダーである長嶋監督  
の野球に対する「純粹さ」、ファンへの  
「熱意」、勝負における「決断力」、選  
手、試合における「洞察力」を十二分に  
勉強させて頂けたと思います。それでは  
最後に今後の長嶋監督の時代感について  
お聞かせ頂けませんかと。  
長嶋 ここ数年野球界に限らず、変革の時  
代が現実に来ています。野球だけやって  
いけばいい、勝つだけが能じゃない、そ  
ういう面が問われる時代になってきてい  
ます。ファンがチームを育成する、ファン  
がチームを育てるという格言があるん  
ですよ。ファンというのは、つまり国民  
ですから。新たな世紀を迎えてその国民  
の気質はどんどん変わっているでしょう。  
その気質が変わるから、野球も変わらな  
いかなければいけない。昔から変わらな  
いのは野球の現場だけと言いますが、そ  
れは、もう通用しませんよ。そういうも  
のは目と目とね、どんどん僕は先手を打っ  
てるつもりでいますよ。時には色々な  
形で批判を頂く時もありますけども。何  
れは五年前、十年前、どうあったかと足  
跡振り返ったときに、時代に泳がされる  
事無くついていけたかなと、歴史が証明  
してくれそうですよ。



# ブロック大会開催

## 北海道ブロック 砂川大会

平成12年9月1・2日と、道内では初めての砂川YEGと上砂川YEGによる共同主催で、327名という過去最大の登録人数となり、大盛況に終ることができました。今回の大会に当たり、前年より準備を進め、月1回の事務局会議・役員会を設けました。砂川YEGと上砂川YEGの意見を十分に反映し開催された大会だったと思っています。開催地テーマ「連携」新たな視点、今こそ見せよう負けない力！の通り、今後は今迄の固定観念・既成観念にとらわれずに広い視野を持って、経済・行政・あらゆる場面で連携が必要な状況になるでしょうし、失敗を恐れずに積極的に行動していくことが大切な時代と考えます。分科会では、倉本聡氏による講演「北海道で考える」を企画しましたが大変盛況で、YEGメンバーの他にも約100名の万々の参加をいただきました。地球規模で環境や自然を考えることの重要性を強調し、講演を締め括りました。



## 東北ブロック 米沢大会



平成12年9月22日に、東北六県並びに全国各地からご参加いただきましたYEGの仲間と、多数のご来賓のもと盛況裡に終ることができました。1年間の集大成ともいえる事業でもあり、当米沢YEGにとっても最も重要であり、大きな楽しみとしてメンバー140名の「熱意」と「おもてなし心」を集めて開催いたしました。本体会は特に「上杉鷹山」をテーマに、鷹山公の人柄や、地域（くに）づくり・モノづくり・人づくりの精神と、強い勇気と決断力で果敢に大変革を成し遂げた行動力を学びとっていただき、それぞれの地域において実践していただきたく開催いたしました。本体会の開催に際しまして、ご支援・ご協力いただきました関係各位の皆様、ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

## 北陸信越ブロック 魚津大会

第20回北陸信越ブロック大会は、平成12年9月20・21日に、魚津市で開催いたしました。「地域を結び、時代をつなぐYEG新未来創造宣言」「しんぎろう伝説が今蘇る！じゃんと恋い2000」を開催地テーマに、北陸信越をはじめ全国各地から、727名もの登録をいただきました。この大会を通して魚津YEGのメンバーの絆がより深くしたのはもちろんのこと、北陸信越のYEGメンバーとひとつのことに燃え上がり、喜びを感じあえたことに心より感謝しております。今の時代こそ、人と人との交流が大事だと思います。いざ 新未来創造宣言！



## 関東ブロック 相模原大会

第20回関東ブロック大会は、開催地テーマ「友だち100人つくろうよ！てくての里から始まるYEG交流」と題し、平成12年10月13日、グリーンホール相模大野を主会場として開催されました。関東ブロックYEGのメンバーをはじめ、全国から80単会、1,255名の若き企業家が集い、記念式典・分科会・懇親会が開かれました。記念式典は「てくての里」のイメージを取り入れ、歌舞伎調の口上から始まり、盛大に開催されました。本大会での、縁・出逢いを通して真の交流がなされることを願うとともに、参加登録をいただいた方々に感謝申し上げます。



## 東海ブロック 鳥羽大会

鳥羽YEGが主催いたしました「東海ブロック大会」は商青連・東海ブロック内外の皆様方のご理解ご協力により、大成功に終わりましたことを皆様に報告申し上げます。皆様方には、鳥羽YEGメンバー一同、心より感謝申し上げます。大会では国際観光文化都市鳥羽の魅力を感じる存分満喫していただけたと自負しております。「ITS翔大夢」(イツ ショウ タイム)「大きな夢の実現の為に、飛翔する・商売する・思い切り生きる」を開催地テーマに、I(伊勢)T(鳥羽)S(志摩)の地から「アクティブ コラボレーション」共に活動し、共に働き、大きな夢に向かって人も企業も羽ばたかための第一歩を踏み出し、約1,000名の会員が集う事が出来ました。今後も、地域を支える青年経済人として、精進と研鑽に努めていくことを誓い、大会報告とさせていただきます。



## 近畿ブロック 宮津大会

平成12年9月8日「人の輪・智慧の輪・黒ちくわ」をテーマに開催させていただきました。当日は、940人という参加登録を頂き、参加されました皆様より沢山の喜び・感動のお声を頂くことが出来ました。我々は、この大会を通じ本当に地域を支える青年経済人として先導者たる気概で研鑽し、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ力を合わせるこの偉大さを学ぶことができました。この感動・あの感動を忘れずに21世紀における個々の商売で英知を如何なく発揮し、さらなる感動を味わいたいと考えています。本大会にお力添え頂きました、商青連関係者の皆様、御参加いただきました近畿ブロックの皆様、本当に有り難うございました。



## 中国ブロック 鳥取大会

平成12年10月21・22日中国ブロック大会を鳥取YEG主催で開催させていただきました。当ブロック大会は「ふるさととっとり見聞録」と題し、見て(鳥取砂丘)、聞いて(少子化問題)、楽しむ(温泉)の三つの分科会を通して鳥取の良さを体験していただけたと思っています。特に懇親会では鳥取ならではの食材を活かし皆さんに存分に堪能していただけたと感じます。この大会の経験を、21世紀を迎える今後の鳥取YEGのますますの発展に活かしていきたいと思っております。



## 四国ブロック 善通寺大会

第17回四国ブロック善通寺大会は、平成12年11月3日から5日にかけて、善通寺市内一円で盛大に開催されました。四国通商産業局長様をはじめ、香川県副知事、善通寺市長、四国商工会議所連合会長がお祝いをかけつけていただき、かつ温かいお言葉までも頂戴し、あらためて商工会議所青年部としての責務の重さを実感しました。分科会・記念講演会と会場を移して開催しましたが、どの会場もほぼ満員となる盛況ぶりでした。その後、懇親会へと会場を移し、四国のメンバーと商青連メンバーとの交流が深められました。これを機会に、今後の青年部活動が充実したものになることと思っております。ご登録いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に感謝しております。有り難うございました。



## 九州ブロック 柳川大会

平成12年10月14・15日に福岡県柳川市で929名の参加をいただき、盛大に行いました。14日は、有明海探訪・柳川歴史探訪・ソーラーボート体験試乗・アサヒ飲料御顧問 諸岡和彦氏によるセミナーと、四つの分科会を行いました。分科会終了後、柳川自慢の川下りで、大懇親会に乗り込むという演出は、参加されたYEGメンバー皆さんに大好評でした。翌15日は、記念式典の後、大林宣彦氏による記念講演で締めくくられ、盛況裡に終ることができました。「九州は一つ」というコンセプトのもと、私達の「熱き思い」を十分に実感していただいたことと確信致しております。皆様、本当に有り難うございました。







# 創立45周年 記念事業



昭和30年、全国で初めて商工会議所青年部が宮津に設置され、2000年という節目の年に創立45周年記念事業として「青年部発祥の地記念碑」を建立しました。

記念碑のデザインはインターネットなどで全国の青年部に広く募集し、多数の作品が寄せられ審査の結果、洲本YEGのデザインが採用されました。

除幕式は、近畿ブロック大会宮津大会の前日の9月7日に45周年記念式典と併せて執り行い、同大会に花を添える記念すべき事業となりました。



商青連の委員会活動は、原則として一年という単年度制の中で結果をどのような形で出すかが問われます。しかし、YEG活動は結果だけが全てではなく、そのプロセスの中で何を感じ、何を考え、何を学ぶかが一つの重要な要素だと思えます。一年という限られた時間の中で輩出されていく人間が、どのような考え方をし、どのような夢を持ち、それをどのように膨らませ、実現することができるか。それが当委員会も含め、今後の商青連活動の重要な鍵となるよ

西暦二〇〇〇年は私にとりまして、まさに激動の一年でございました。当委員会を通じて多くの有益な経験、また、多くの人々との邂逅の中、私自身大きく成長させていただいたような気がいたします。この一年、アントレプレナーズ委員会に関わってくださいました全ての皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。合掌。

## 研修委員会

委員長 藤田 晋一

今年度の委員会事業として、若手経営者の実地研修として実施した「翔生塾」、コンサルの立場から捕らえた「二十一世紀に生き残る中堅、中小企業の特徴」というテーマで開催した「第一回ヤングリーダー研修」、また同時開催として、これからの若手経営者の心構えを説かれた日商稲葉会頭の講話、そして実際に成功をおさめられている企業のトップとして、第一線で活躍されている、大分県は表焼耐「いちご」を製造されている三和酒造株式会社社長、熊笹御堂様の御講演。

委員会活動としては、商青連機関紙「翔生」29号発行・配布を実施。そして、この「翔生」30号記念号は、全国の商工会議所議員の方々へも日商を通じてお届けしました。きつと、商青連の活動を御理解いただけるものと思っております。他にも、商青連ホームページの改訂・維持を行いました。掲載内容を一新し、サーバーを日商のサーバーに移行し、定期的に内容を更新してまいりました。新しい試みとしては、倉橋会長と長嶋茂雄氏との対談を行い、対外的に商青連をアピールいたしました。また、任期終了直前に、倉橋会長のアリガタイ「思いつき」によりYEG大賞という企画が急遽浮上し、最後まで（他の各理事が打ち上げをやっているのを横目に見ながら・・・）忙し仕事をさせていただきました。広報委員会は、矢口副会長以下

## 広報委員会

委員長 田中 拓朗

八名のメンバーで昼夜に渡り精力的に活動してまいりました。役員間・委員会メンバー間の相互理解を深め、今後の商青連活動に少しでも役立つものを残せたのではないかと思います。一年間、有り難うございました。

## 企画委員会

委員長 鈴木 倂介

この一年、全国大会と会長研修会という商青連の二大事業を担当する我が企画委員会は精一杯議論をし、精一杯活動しました。次期開催地も無事決めていただきました。ブロック大会にも全てお邪魔をし、式典のスムーズな運営のお手伝いをさせていただきました。そして、これら大会の開催の手引書も作成いたしました。商青連にとって重要なイベントのお手伝いできたこと、そして倉橋会長のもと、「戦う青年部」の先鋒として活動できたことを、私達企画委員会一同は心より感謝し、また、誇りに思います。

## 総務委員会

委員長 高橋 宏平

今年度総務委員会では下記の活動を行いました。一、特に今年度特記する事項は、規約等の検討を重点に行いました。

- ① 来年度より日商の定款に青年部が載ることによる、青年部の規約やその他の事項についての検討を行いました。
  - ② ブロック大会開催の手引書を作成し、開催地決定に関する規程、大会開催にあたってのブロック、商青連、日商の位置付けなどを明確にしました。
- 二、通常活動として
- ① 年間七回の役員会、二回の会員総会の開催運営
  - ② 会員拡大について
  - ③ その他、委員会に属さない事項についての検討
- 以上御報告申し上げます。

## アントレプレナーズ委員会

委員長 竹川 博子

平成十二年度のアントレプレナーズ委員会は、実に一〇〇名を超える委員会メンバーを擁し、「環境部会」、「地域振興部会」、「情報化部会」、「ベンチャービジネス部会」の四部会編成により、人的ネットワークの構築、ビジネスチャンスの発掘等、より実践的な経済活動の研究・推進につとめるとともに二十一世紀を担う青年経済人としての資質向上を目指した委員会活動を進めて参りました。特別委員会として発足後六年目を迎え、その活動が年々充実度を増し、当委員会への期待も高まる中、この一年をどのような方向に導けばよいのか、期待と不安が錯綜する日々の連続でございました。しかし、振り返れば、理事各位をはじめ、参加いただいた一人ひとりの熱意と行動力により、その不安も杞憂でありました。

平成十二年度のアントレプレナーズ委員会は、実に一〇〇名を超える委員会メンバーを擁し、「環境部会」、「地域振興部会」、「情報化部会」、「ベンチャービジネス部会」の四部会編成により、人的ネットワークの構築、ビジネスチャンスの発掘等、より実践的な経済活動の研究・推進につとめるとともに二十一世紀を担う青年経済人としての資質向上を目指した委員会活動を進めて参りました。特別委員会として発足後六年目を迎え、その活動が年々充実度を増し、当委員会への期待も高まる中、この一年をどのような方向に導けばよいのか、期待と不安が錯綜する日々の連続でございました。しかし、振り返れば、理事各位をはじめ、参加いただいた一人ひとりの熱意と行動力により、その不安も杞憂でありました。しかし、振り返れば、理事各位をはじめ、参加いただいた一人ひとりの熱意と行動力により、その不安も杞憂でありました。





# 第20回商工会議所青年部全国大会

# 鹿児島大会開催



第20回商工会議所青年部  
全国大会 鹿児島大会  
大会会長  
**大脇 唯真**

錦江湾にドカッと根を下ろし雄々しくそびえ立つ桜島を眼前に、20世紀最後のとりを務める鹿児島全国大会となったわけですが、全国から沢山の登録をいただき無事終了することが出来たことに、心より御礼を申し上げます。

単会・県連が一丸となったこの大会、商青連の理事並びに各地のブロック代表理事の皆様方、そして何よりも全国の会員の皆様方からの厚き友情に支えられたことが、我々にとっては目に見えない大きな原動力となり、成功裡に導かれた最大の要因だったのではないかと思います。

天候にも恵まれ、程よいサラサラの火山灰が舞う中、錦江湾を従えた北埠頭緑地広場での大懇親会が、商青連理事並びに有志による樽御輿により華々しく幕閉けされました。あのスタートダッシュこそが、鹿児島大会の明暗を左右したと言っても過言ではないでしょう。

大会のキャッチフレーズは「まんまる鹿児島」でしたが、主管が県連であるが故に、この大会を通して生まれた連携、そして一つにまとまるということが出来たという事実は、これからの鹿児島県連の大きな財産となって跳ね返ってくるものと自負しております。

また、特筆すべきは、ビジネス交流プラザと物産展です。これに於きましても、全国のメンバーの皆様方より多大なるご尽力を賜りました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

最後になりますが、明治維新で幕末の動乱期を熱き血潮で染め抜き、若武者の巣窟であったこの鹿児島地で行なわれた全国大会が、商青連の更なる躍動の起爆剤にならんことを心から願ひ、そして二十一世紀から始まる新たな怒濤の進展を、来る「ご縁満開」の小田原大会に期待しつつ、私の挨拶とさせていただきます。

有り難うございました。



第20回商工会議所青年部  
全国大会 鹿児島大会  
大会実行委員長  
**妹尾 隆哉**

「第20回商工会議所青年部全国大会」のご報告を申し上げますとともに、御礼とご挨拶を申し上げます。

商青連スローガンに「地域をむすぶ、時代をつなぐYEG新未来創造宣言!」、開催地キャッチフレーズに「まんまる鹿児島」、大会コンセプトに「Mother Earthここから生まれるYEG新世紀」と掲げ、2000年11月16日～19日の4日間(本大会17・18日)にわたり、333単会、3,071名の登録を得て開催されました。

今日の経済状況や本土最南端という地理的状况を考えると、この様にたくさんのご参加をいただけたのも、商青連をはじめメンバーの熱い友情とご協力のおかげだと思っております。まずもって心より御礼を申し上げます。

本大会は、16日の親睦ゴルフ・前泊者懇親会を皮切りに、17日の商青連諸会議、会員総会と進行いたしました。

分科会は、「火の薩摩」・「景の薩摩」・「史の薩摩」さらに「経済活性化ミレニアム記念講演会」・「21世紀のアントレプレナーズへの提言」と題して開催。薩摩から生まれたものをキーワードに、鹿児島を学んでいただきました。

分科会の後に、全国大会初の野外での大懇親会を開催。鹿児島が誇る錦江湾に浮かぶ桜島を眼前に望むというロケーションを堪能していただきました。また、飲食は、県内の焼酎全銘柄を集め、「ウェルカムさつま芋」など、「お祭りのテント」形式を試みました。

そして18日、「記念式典」・「記念講演」を市民文化ホールにて開催しました。(会場の関係上、ホールが分散してしまふ九州ブロックの皆様にはご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫びを申し上げます。)この他に大会記念CD-ROMを制作。今後のビジネスに少しでもお役に立てばと思います。

最後に、様々な制度改革や規制の緩和、今後のグローバルな競争社会の中で、既存の枠組みでは計り知れない変化への対応を迫られています。それぞれ地域経済の時代を担う商工業者のリーダーとしての気概を持つことが我々の使命だと思います。皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。



▲次年度古泉会長 初めての挨拶

▶記念式典



▲保岡前法務大臣と有村アナウンサー



▲第33回通常会員総会



▲役員揃い踏み



▲大懇親会のオープニング



▲御輿でワッショイ! 入場





地域を結ぶ、時代をつなぐYEG 新未来創造宣言!!

# Shake hands in HANDA

山車・蔵・南吉の街、半田から21世紀の息吹きを...

YEG Young Entrepreneurs Group of Handa

あいち

## 半田会議開催

平成12年度

## 全国会長研修会

第18回商工会議所青年部



2001年  
2月  
8日(木) 9日(金)

### 会長研修会を ふりかえって

全国会長研修会実行委員会  
実行委員長 東浦 右智

五年間に渡り誘致・計画・実行してまいりました全国会長研修会あいち半田会議も無事終了いたしました。これも一重に全国YEGの皆様の深いご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。最終の登録数は一、〇五九名、参加登録単位数二七二単会を数えました。この数字は、二十一世紀に半田YEGが今後背負っていくものであり、メンバー一人ひとりにとっては自信となったことと確信しております。全国YEG皆様本当にありがとうございました。

# YEG 大賞 決定

### 応募単会リスト

山形県 天童 YEG	『天童冬の陣「平成鍋合戦」』
岩手県 金石 YEG	『宮澤賢治世界CD』
和歌山県 新宮 YEG	『二県交流綱引き大会』
徳島県 徳島 YEG	『徳島ひょうたん島川祭り』
福島県 津若松 YEG	『あいづ食と芸能の祭典』
兵庫県 加西 YEG	『サンタクロース宅配サービス』
岐阜県 各務原 YEG	『IT先進国インド訪問』
宮崎県 小林 YEG	『サマーフェスタ』
神奈川県 藤沢 YEG	『湘南・江の島手作りポートレース』
長野県 中野 YEG	『中野九条市』
京都府 宮津 YEG	『商工会議所青年部発祥の地記念碑』
三重県 伊勢 YEG	『食・遊・祭2000 inサンアリーナ』
長崎県 島原 YEG	『GAMADASげんき塾』
神奈川県 小田原 YEG	『ホビー大賞グランプリ』
広島県 広島 YEG	『広島YEGメッセ2000』
愛知県 豊川 YEG	『豊川大作戦2000』
愛媛県 今治 YEG	『タオルデザイン展』
愛知県 半田 YEG	『ロマンティックイルミネーション』
愛知県 春日井 YEG	『春日井ライオン物語』
新潟県 村上 YEG	『星夜ナイトパザール』
愛媛県 西条 YEG	『ときめき通り・きらきら物語』
岐阜県 関 YEG	『月刊誌トンテンカン』
鳥取県 鳥取 YEG	『2100年未来新聞』
千葉県 柏 YEG	『東葛青年経済人交流会』
三重県 津 YEG	『ウェルカム21』
福島県 福島 YEG	『ロマンチックあつま』
栃木県 宇都宮 YEG	『パンパ仲見世2000』
三重県 上野 YEG	『いがうえの2000年マップ』
愛媛県 宇和島 YEG	『新うわじま郷土料理コンテスト』
兵庫県 加古川 YEG	『インターネット喜劇店街』
奈良県 大和高田 YEG	『ピアガーデン事業』
愛知県 岡崎 YEG	『企業フェア展開』



▲YEG大賞受賞風景

今年度、各ブロック大会、並びに会長会議に於いて、商青連会長との懇談会を実施した中、全国各地のYEGが開催した一押し事業を倉橋会長の想いのもとYEG大賞として表彰する事となり、担当を広報委員会が行い日商より全国のYEGに募集をした。

期間が短く心配であったが、三十二YEGよりすばらしい事業の応募があり、二月七日、午後三時より全国会長研修会あいち半田会議のメイン会場である雁宿ホールにて2時間にもおよび選考会を実施した。

その結果、春日井YEG「春日井ライオン物語」、島原YEG「GAMADASげんき塾」、加西YEG「サンタクロース宅配サービス」、広島YEG「広島メッセ2000」、天童YEG「天童冬の陣(平成鍋合戦)」、関YEG「月刊紙トンテンカン」、上野YEG「いがうえの2000年マップ」&伊賀上野熱血商人」以上七YEGを大賞として選出した。

表彰式は二月九日、会員総会終了後、田中広報委員長司会のもと矢口副会長より受賞YEGの発表、受賞理由の説明の後、倉橋会長より賞状と賞金を贈り、全員の拍手によって無事終了した。

なお後日、商青連のホームページ上に全国YEGメンバーに発信する事とする。

(順不同)





▲商工会青年部役員  
右から松村祥史(副会長・熊本)・倉本幸益(副会長・茨城)  
寒郡茂樹(会長・千葉)



▲商工会青年部寒郡会長と倉橋会長

両団体とも、外形標準課税への取り組みなど活動の共通点も多く、地方の中小企業の生の声を中央に対し届けることの出来る団体として、今後の連携を計ることによる効果並びに情報交換の重要性について、約一時間ではあったが、終始出席者の積極的かつ真剣な意見交換がなされた。今回を第一回目とし、今後継続的に懇談会を開催することを約し、閉会となった。

青年部連合会会長より、現在商工会が直面している問題並びに今後の有り方等が述べられた。

冒頭、倉橋会長より記念品が贈られ、和やかな雰囲気の中懇談が始まった。出席者の自己紹介の後、倉橋会長より、昨今の経済状況を鑑み団体を越えて連携・交流を計りたいと日頃より考えていた旨が伝えられ、それを受け寒郡全国商工会青年部連合会会長より、現在商工会が直面している問題並びに今後の有り方等が述べられた。

昨年十二月四日第一ホテル東京シフオートにおいて、全国商工会議所青年部連合会と全国商工会青年部連合会との、初めての懇談会(意見交換会)が催された。

とき 平成十二年十二月四日  
場所 第一ホテル東京シフオート

# 全国商工会青年部連合会との懇談会

## 商青連会長と単会ブロック会長との懇談会

# 質疑応答 Q & A

倉橋会長からの強い想いで、春のブロック会長会議、秋のブロック大会の折に、各ブロックの単会会長と倉橋会長との懇談会を開催致しました。主な質疑応答内容を紹介しします。

### Q：Y E Gは、日商青年部にならないの？

A：歴代会長を始め、過去にその件については議論上がり内部等で話をしたり、会頭にも話をしたとも伺っている。今は日商の定款にも記載されてもいないこともある。しかし、あまり日商青年部と言うことに拘らなくても良いと思う。実務を上げていきたい。日商は東京の会長が当たるが、Y E Gは各地から全国の会長になれる。地方の様々なことを中央へ伝えられる。

### Q：Y E Gに対する日商の評価は？

A：通産も中小企業を指導から支援に変わってきた。97%の中小企業が日本を支えてきている。日商も我々青年部が約20年を迎えて、その活動に対して研修や各地活動に対しても大変評価をしている、さらには敏速な取組等にも評価をしていると聞いている。

### Q：Y E Gの定年制の全国統一は？

A：基本的には、地域にお任せ状況です。J Cが40歳、49歳ぐらいが良いと思うが、地域に於いては親会で早く入ってほしいために定年が低いところもある。実際は定年を上げると会員数が増えていく。定年制問題について各ブロックで多く出ているのであれば今後商青連で検討したい。

### Q：J CとY E Gとの関係について

A：それぞれの定年制の違いがあるが、同じ地域であるので双方の強さと交流によって、素晴らしい地域活性化に繋がる活動に発展してほしい。

### Q：法人会とY E Gに入会しているが、法人会中心だがY E Gは、どのような活動をしたら良いのか？

A：法人会は納税を考えるが、Y E Gは、効率良い商売を考えてなるべく税金を払わないように勉強する。しかし、活動については、Y E Gと法人会とが、無駄なエネルギーを使わず活動のジョイントをしては。

### Q：商青連とは、何か？

A：商青連には、良質の情報が沢山あり、そのデータを使って欲しい。しかし、そのデータを各Y E Gの事務局サイドで止まっているのでは非データを使ったほうが良いと思う。

### Q：ブロック大会は、開催地に委ねてほしい？地域のためにも地元で認識していただけるためにも考えてほしい。

A：企画委員会でも検討、メンバーの為にやるのだから開催をしている地元を大切にしたい。しかし、会議所青年部という立場や来賓等を考えると会典については、マニュアルを尊重し、その他については中身を大切に地域・個性・企画を出せば良い。

### Q：他の団体との差ははっきりしている。Y E Gであるとしてのもう少しハッキリとしたアドバースがほしい。

A：自分の会社を守って地域に貢献することがY E G。

### Q：単会で何が出来るか？

A：単会では、会社を作り地域で活動しているところもある。地域連携の中で、お互いに情報交換をする。

### Q：会員増強について？

A：定年延長をすると自然増につながらる。大会をやることによって、その弾みにより会員を増やすことが出来る。親会の議員総会に出て、議員の息子を青年部に入れてもらう。単会で、他に無いような研修会を実施することを会議所親会を通して会議所会員へ入会のアプローチをしてもらう。事業などの仕掛けをしていても、一般市民に商工会議所という名称だけで青年部という名称が出ていないのでは(認知してもらう)。

### Q：地域での中心地にY E Gの設立は何故ないのか？

A：規模の大きさとJ Cだけが経済人だと思っている会議所の親会の方も少なくないし、元気に活動しているも青年部の設立には必要がないと思われている方も多くいるようだ。日商会頭にもお願いして行く。Y E Gが中心部に無いということは、大変歯がゆく全国各地で認めていただいているのではと思う事もある。

### Q：補助金についてどう対策を取っているのか？

A：財政的に厳しい中においても、Y E Gが認知されると補助がでると思うし、カットされると今一つ活動が悪いのではと思う。本質は、補助金についてはひも付きに頼らずに、どのように対策をどう考えていくかが我々の考えるところではないのか。

### Q：何故、親会議所の定款に入っていないのか？

A：各地会議所によって様々だが、全国約434単会の中で50%の単会が親会の定款に入っていないと承知している。この件については、日商の定款に商青連が記載されていないことも関係があるのではと考えられるし、各会議所の考えなのかも知れない。ただ、今後単会の努力により親会に認めていただくような積極的な事業をすることで定款に記載されるようになると思う。

### Q：Y E Gと政治の関わりについて？

A：いろん方から言われるが、政治との関係を持つことによって街も活発になると思う。政治と会議所という関わりとは考えずに、行政と会議所との関わりというニュアンスでものを考えていく方が良いと思う。選挙の関わり方は、青年部ということだけでなく個人的に関わった方が良い。様々なことで議員とY E Gとの懇談会をしても良いのではないかとと思う。

### Q：商青連からのブロック大会等への助成金を年当初にいただきたい？

A：ブロック大会への助成金先払いを考えていく。

### Q：アントレプレナーズ委員会の将来的展望は何か？

A：参加しているメンバーが受益負担できて、切磋琢磨しながらビジネスチャンスを作る。様々な取組みを展開し、部会によっては、政策提言を考えていく。

※その他、いろいろな質問事項があったが上記に掲載されている事に類似していることから代表的な事項として明記しました。

※Qは、各ブロックでの単会会長からの質問 Aは、倉橋会長。